

活動名「みんなで学ぶSDGs！地元の川の観察会&地産地消と調理体験プロジェクト」

1. 日時 令和7年7月27日 8時～14時30分

2. 場所 神山地区吉野瀬川、越前そばの里

3. 内容

地元を流れる吉野瀬川の生態系を観察し地域の生態系がもたらす自然の恵みを学び、SDGsの目標「15.陸の豊かさを守ろう」を理解する。

また、越前市（神山）産のそば粉等を使ったそば打ち体験をすることで、地元の農産物の理解を深め、食材の大切さを学ぶことを目的とする。持続可能な食についての理解を深め、地域食材の活用やフードロス削減の意識を高め、SDGsの目標「12. つくる責任、つかう責任」を理解する。

4. 参加人数 1部 吉野瀬川 子供21名大人20名
2部 そばの里 子供58名大人39名 のべ138名

5. 活動の様子

吉野瀬川観察会



そば打ち体験



6. 事業の成果

第1部では猛暑予報の中、吉野瀬川にて未就学児から中学生までにぎやかに開催しました。アユやスッポン等を観察でき、大興奮先生からは!身近に思われていたトノサマガエルが実は絶滅危惧種で、人間がもたらす環境の変化に対応できず数を減らしているとのお話がありました。川のごみ拾いも行い、雑巾やトタン波板、小さなバッテリー等、不法投棄されたごみを回収しました。神山の豊かな生態系を守るため、このような取り組みを継続していくことの大切さを実感しました。

2部ではそばの里スタッフのもと、越前市で作られているそばの話や、手打ちそばの作り方を教えてもらいながら、楽しく、また悪戦苦闘しながら子供たちがそば打ちを体験できました。1部、2部とも予想を超える参加でとても盛り上がり地区として大変満足のいく結果になりました。